

## 情報通信部会長報告

第2回情報通信部会を、8月30日に当所ホール 80 において会員等 35 名の出席を得て、オープン部会として開催いたしました。

今回は、9月上旬に第3次公募が開始される「IT導入補助金」について、3名の講師をお招きし、補助金の申請手続き方法や、IT導入事例を踏まえた内容でご講話いただきました。

### ■ IT導入補助金について

東北経済産業局地域経済情報政策室 企画係長 菊池 隼人 氏

- 平成 29 年度補正予算の規模は 500 億、採択は 10 万件を予定している。1 次・2 次公募では 2 万件超の応募があり、9 割が採択になっている。
- 通常の補助金とは異なり、IT 事業者による代理申請を可能にしており、導入後のフォローアップも行う。煩雑な手続きを解消し、着実な生産性向上を狙う。

補助率：1/2 以内、補助額：上限 50 万円・下限 15 万円  
対象経費：ソフトウェア、クラウドサービス、保守・サポート、セキュリティ対策等  
詳細：IT 導入補助金 HP (<http://www.it-hojo.jp>) 業種別活用事例集を掲載

IT を導入した結果、全ての業種で生産性と売上が向上している。積極的に IT を導入し企業の生産性向上につなげていただきたい。

### ■ IT を活用した働き方・生産性向上の事例紹介

NB I コンサルティング(株) 代表取締役社長 本田 秀行 氏

- 自動車部品製造…生産ラインに 1 個 50 円の光センサーを付けるなどの簡単な仕組みで、生産ライン測定システムを自社開発し、設備投資 4 億円、労務費 1 億円を削減。
- 墓石等企画販売施工…電話と顧客情報を連動させる CIT システムを導入し、売上 1.7 倍、顧客情報 2 倍を実現。
- レストラン…タブレットにモバイル POS レジとクレジットカード決済サービスソフトを導入し、決済手数料削減により粗利 1% 増。領収書プリントアウトによる業務効率化。

現場の担当者は変化を嫌う傾向にあるが、現行の業務は本当に最適か見直し、業務改革のチャンスを逃さないようにする経営判断が大事。

### ■ 県産業労働部デジタルイノベーション戦略室の施策紹介

秋田県産業政策課デジタルイノベーション戦略室 室長 羽川 彦禄 氏

- 秋田県の現状は日本一人口減少が進み、人手不足により労働力も減少しているが、中小企業・小規模事業者の情報化が遅れている。
- 第 4 次産業革命等により産業や就業構造は大きな変革期にあることから、以下の取組みにより情報技術の活用を促進し産業振興と地域課題を解決する。

◎ICT の推進や第四次産業革命等に対する普及啓発、セミナー等の情報提供、専門家チームによる IoT 診断や産業技術センターによる技術支援の実施。

◎「かがやく未来型中小企業応援事業」等補助金による先進技術等の導入支援。

◎技術力向上支援等県内 ICT 企業の強化、企業誘致等新規立地促進、人材確保・育成等。

人口は減少しているが技術は進んでおり、IT の活用が本県産業・社会の将来を左右する。

IT に興味がない方も自身の問題と認識し、生産性を上げる努力が必要。

